

## 第88回国民体育大会に係る開催要望の結果について

平成30年11月22日  
体 育 保 健 課

今年の9月定例県議会において、全会一致で2巡目国体の招致決議がなされました。

これを受け、去る11月13日（火）に、開催趣意書、決議書（写し）、西地区16県の同意書（写し）を添付した国民体育大会開催要望書を、日本スポーツ協会（伊藤雅俊会長）及び文部科学省（鈴木大地スポーツ庁長官）に対して、平井知事が手交しました。

### 【第88回国民体育大会開催要望書の提出】

#### 1 日時

##### (1) 公益財団法人日本スポーツ協会

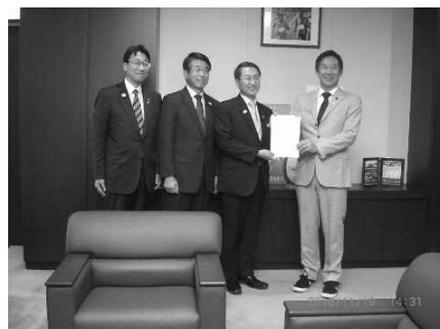
- ・日 時 平成30年11月13日（火）午前11時から午前11時15分
- ・場 所 公益財団法人日本スポーツ協会 2階 日本スポーツ協会 会長室
- ・内 容 第88回国民体育大会開催要望書の提出  
（伊藤雅俊会長へ手交）

##### (2) 文部科学省（スポーツ庁）

- ・日 時 平成30年11月13日（火）午後2時30分から午後2時45分
- ・場 所 文部科学省13階 スポーツ庁長官室
- ・内 容 第88回国民体育大会開催要望書の提出  
（鈴木大地スポーツ庁長官へ手交）

#### 2 本県要望者

- (1) 鳥取県 平井 伸治 知 事
- (2) 鳥取県教育委員会 山本 仁志 教育長
- (3) (公財) 鳥取県体育協会 中永 廣樹 会 長



### 【スケジュール】

#### <これまでの動き>

2018（平成30）年

- 9月18日 県体育協会・県障がい者スポーツ協会がそれぞれ国体招致要望・全国障害者スポーツ大会招致要望を決議
- 10月5日 県体育協会・県障がい者スポーツ協会が、議長・知事・教育長へ国体及び全国障害者スポーツ大会招致要望書を提出
- 10月15日 2033年の2巡目国体招致を県議会全会一致で決議
- 11月12日 島根・鳥取両県会議・・・協力しながら準備を進めることを確認
- 11月13日 日本スポーツ協会及び文部科学省に国体開催要望書を提出

#### <今後の想定スケジュール>

- 2018年 島根県と協力開催のあり方について協議（会場地、人的体制、経費負担等の考え方）
- ～以降～ 国体準備委員会を設立 鳥取国体の内々定
- 2021年頃 国体準備委員会が鳥取国体の総合プランを策定
- 2028年 国体開催申請書の提出（5年前）、鳥取国体開催の内定
- 2029年 島根国体開催
- 2030年 鳥取国体の開催決定（3年前）、国体実行委員会設立
- 2033年 鳥取国体開催

# 開催趣意書

国民体育大会は、我が国最大のスポーツの祭典として、広くスポーツを普及し、健康の増進と体力の向上を図るなど、スポーツ振興と文化の発展及び活力のある地域づくりに寄与してきました。

鳥取県では、昭和60年に「明日へ向かってはばたこう」のスローガンのもと、第40回国民体育大会「わかとり国体」を開催し、質素な中にも温かさのある大会の実現を目指し、県民の総力をあげて取り組みました。わかとり国体を成功に導くとともに、天皇杯を勝ち取ったことは、全国最少人口の県であっても「やればできる」という自信と誇りを県民にもたらし、本県のスポーツ振興の大きな礎となりました。

現在、本県は少子高齢化や人口減少など厳しい状況が進んでいますが、人と人が繋がり互いに支え合う、本県ならではの強みを活かして持続的で活力のある地域づくりを進めています。国民体育大会を山陰両県協力しつつ本県で開催することは、スポーツの振興はもとより、スポーツを通じて次代を担う子どもたちに夢や感動を与えるとともに、健康づくり、地域経済の活性化、観光の振興など、本県はもとより日本全国の明るく豊かな国民生活と地域社会の醸成に大きく貢献するものであります。

国民体育大会の招致は、スポーツ関係者をはじめ、県民あがての強い願いであることを御賢察いただき、2033年の第88回国民体育大会を本県で開催できますよう格別の御高配をお願い申し上げます。国体開催が全国を2巡する締めくくりにふさわしい大会となるよう全力で取り組むことをお誓い申し上げます。